

鳥取県地震

2020年（令和2年）3月

鳥取地方気象台

目次

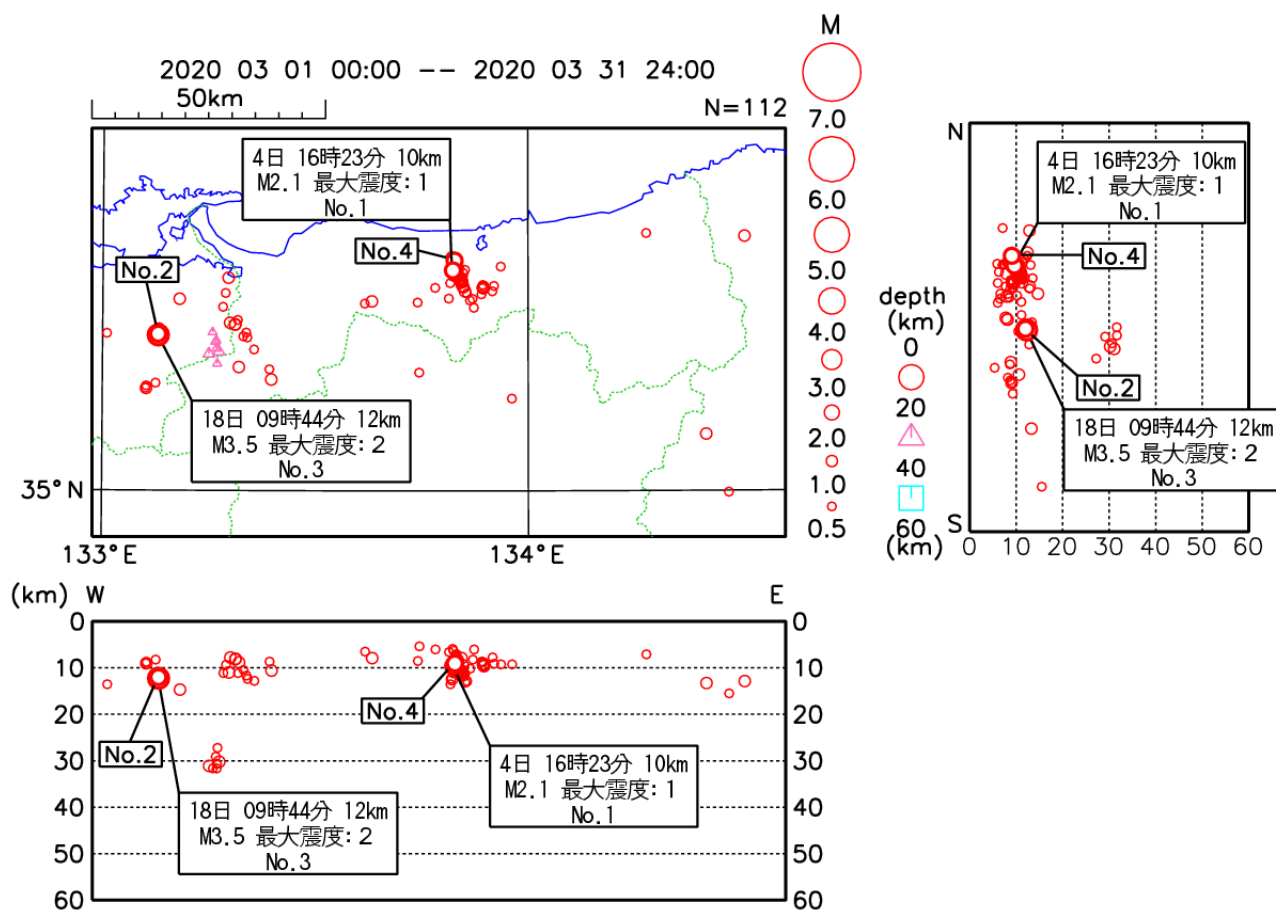
(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	2
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	2
(3) 地震・津波の知識	
緊急地震速報の発表の迅速化	4

- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。
- ・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2020年3月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は3回でした（先月は無し）。

4日16時23分 鳥取県中部の地震（深さ10km、M2.1）により、鳥取県北栄町で震度1を観測しました。

13日02時18分 石川県能登地方の地震（深さ12km、M5.5）により、石川県輪島市で震度5強を観測したほか、東北から中国地方にかけて震度5弱～1を観測しました。鳥取県では鳥取市と北栄町で震度1を観測しました。

18日09時44分 島根県東部の地震（深さ12km、M3.5）により、鳥取県日野町で震度2を観測したほか、山口県を除く中国地方で震度1を観測しました。鳥取県内では日野町のほか、米子市、境港市、日南町、南部町で震度1を観測しています。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は4回（前月は2回）でした（番号は震源リストに対応）。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間 : 2020年3月1日00時00分～2020年3月31日24時00分
 緯度 : 34° 55' ～35° 45' N 経度 : 133° 00' ～134° 40' E
 深さ : 0 km～60 km

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2020年03月04日16時23分	鳥取県中部	35° 25.5' N	133° 49.4' E	10	2.1	1
2	2020年03月10日13時39分	島根県東部	35° 18.0' N	133° 7.8' E	12	2.1	—
3	2020年03月18日09時44分	島根県東部	35° 17.9' N	133° 7.8' E	12	3.5	2
4	2020年03月25日12時17分	鳥取県中部	35° 26.6' N	133° 49.6' E	9	2.2	—

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

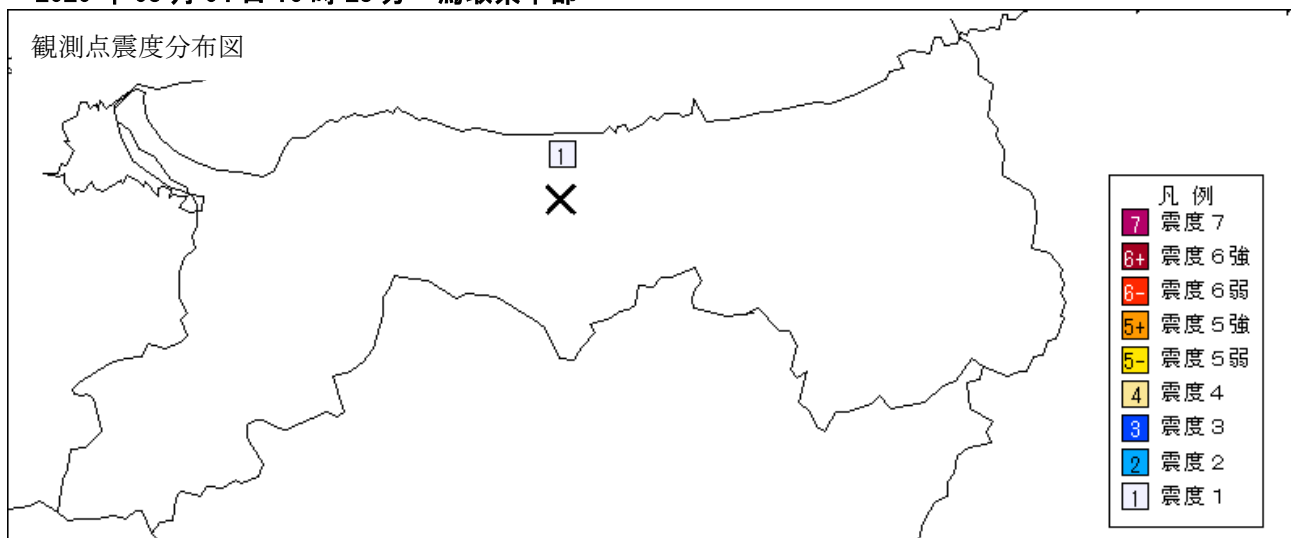
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時(年 月 日 時 分) マグニチュード	震央地名	北緯	東経	深さ
2020年03月04日16時23分 ----- 地点震度 ----- 鳥取県 震度 1 : 北栄町土下*	鳥取県中部	35° 25.5' N	133° 49.4' E	10km M2.1
2020年03月13日02時18分 ----- 地点震度 ----- 鳥取県 震度 1 : 鳥取市福部町細川*, 北栄町土下*	石川県能登地方	37° 16.7' N	136° 49.4' E	12km M5.5
2020年03月18日09時44分 ----- 地点震度 ----- 鳥取県 震度 2 : 鳥取日野町根雨* 震度 1 : 米子市東町*, 境港市東本町, 日南町生山*, 日南町霞*, 鳥取南部町法勝寺* 鳥取南部町天萬*	島根県東部	35° 17.9' N	133° 07.8' E	12km M3.5

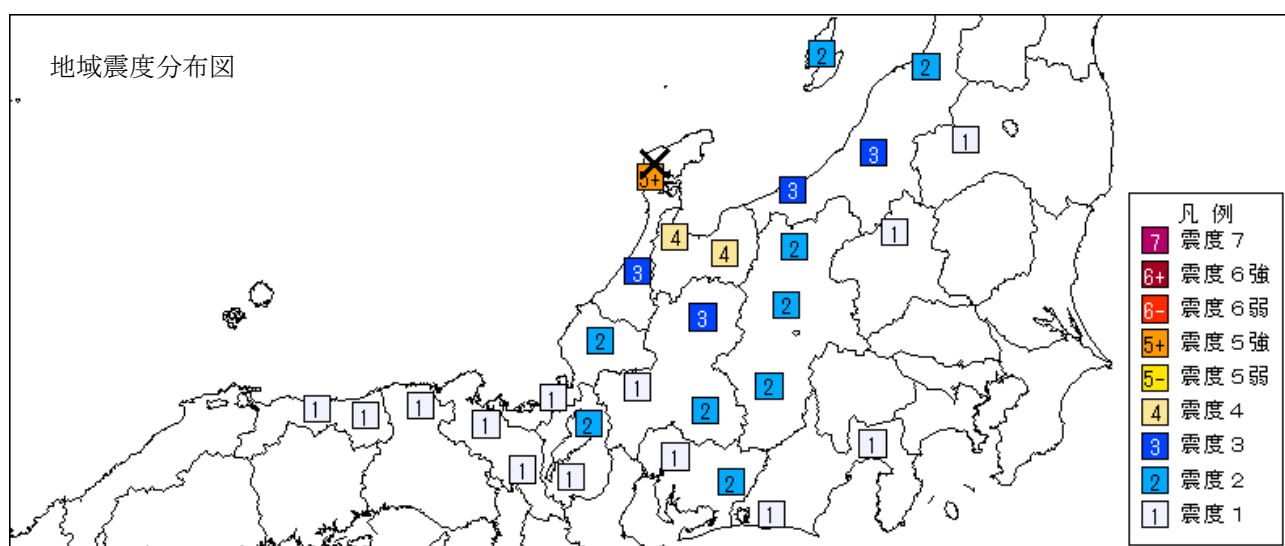
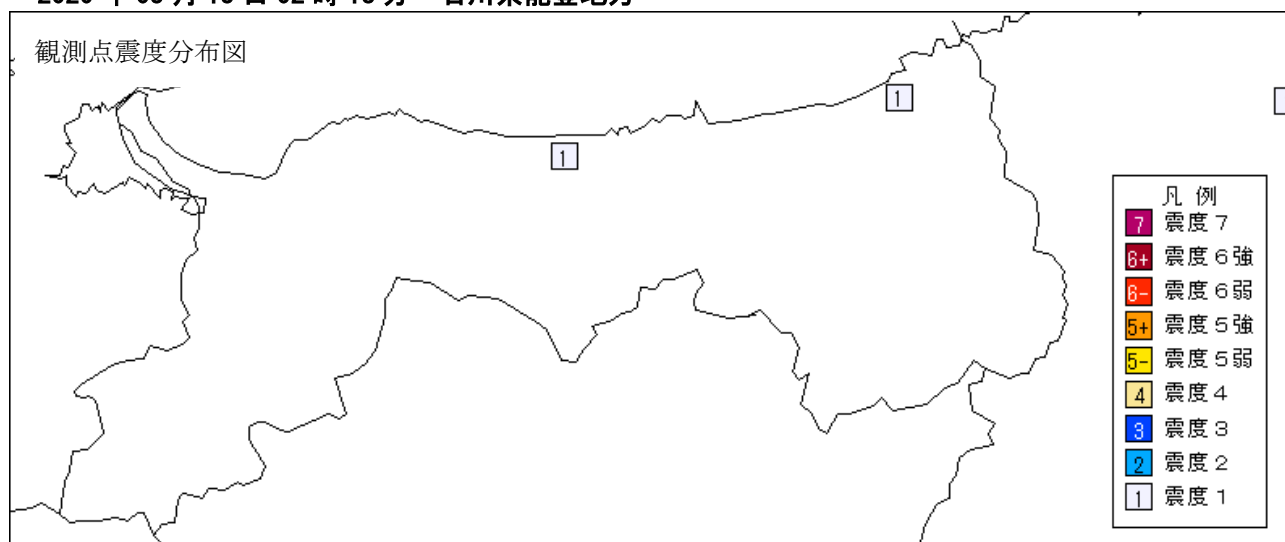
・*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図(図中×は震央)]

2020年03月04日16時23分 鳥取県中部

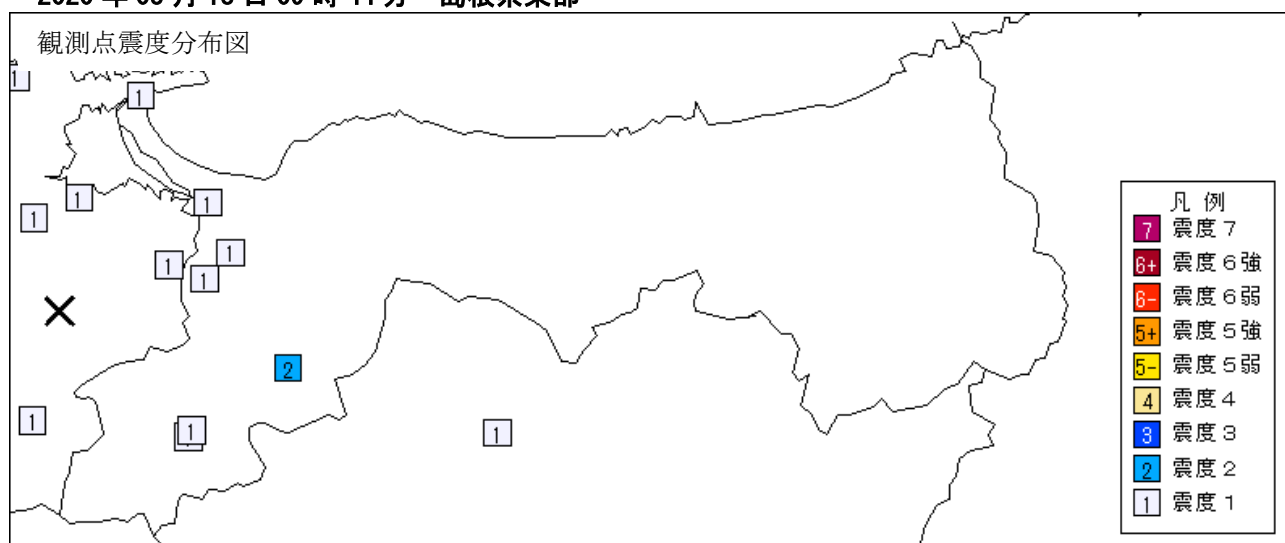


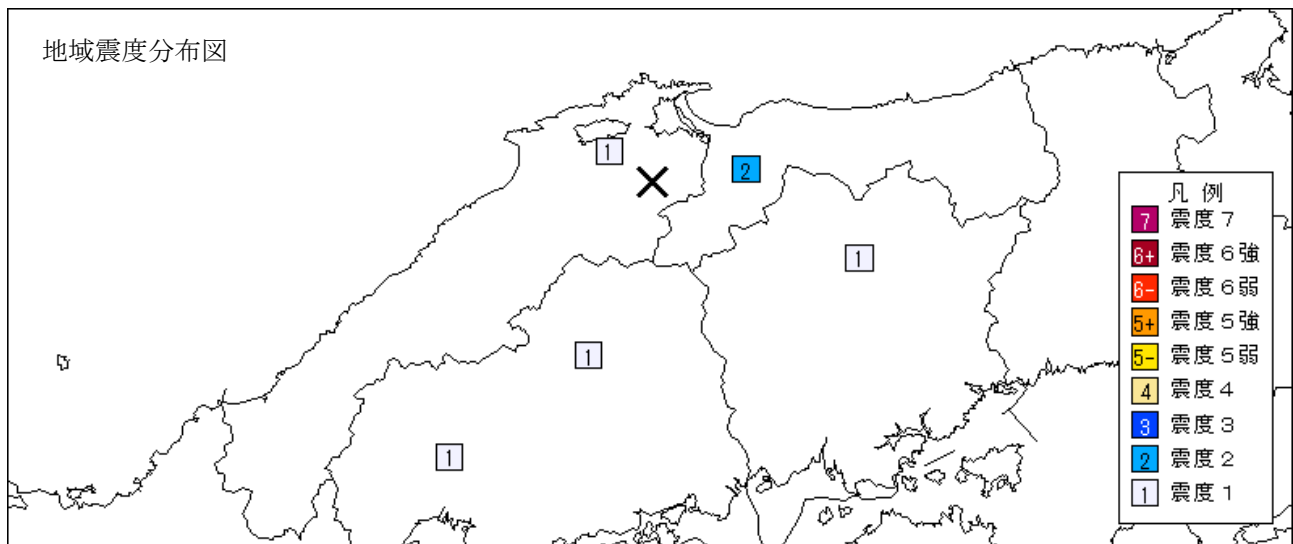
2020 年 03 月 13 日 02 時 18 分 石川県能登地方



地域震度分布図

2020 年 03 月 18 日 09 時 44 分 島根県東部





(3) 地震・津波の知識

緊急地震速報の発表の迅速化

気象庁は、日本の周辺海域で発生する地震に対して発表する緊急地震速報の迅速化を図るために、国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下、防災科研）と連携して、沖合に設置された海底地震計の観測データを活用するための技術開発を進めてきました。

その成果として、令和元年6月27日より、防災科研が運用している「地震・津波観測監視システム（DONET）」及び「日本海溝海底地震津波観測網（S-net）」（日本海溝より陸側の観測点）の観測データを活用した緊急地震速報の発表を開始しています。

このたび、S-net の観測点のうち、残る日本海溝より東側に設置された観測点（図1）についてもその観測データを活用する準備が整ったことから、令和2年3月24日12時からこれら観測点のデータを新しく緊急地震速報の発表への活用を始めています。これにより、S-net 全体の観測データを活用することとなりました。

今般の活用開始により、日本海溝より東側で発生する地震について、緊急地震速報（警報）の発表が従来よりも最大で10秒程度（図2）、S-net の観測データの活用を開始する前（令和元年6月以前）と比較すれば、最大で30秒程度早まることが期待されます（図3）。

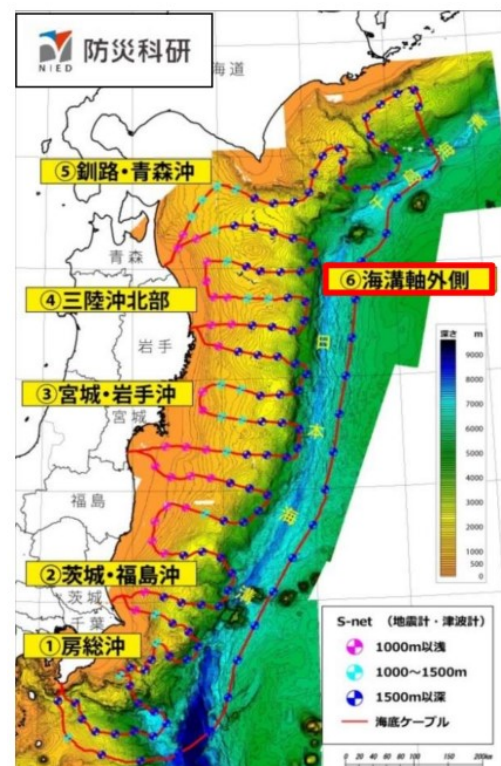


図1 S-net の観測点分布図

「⑥海溝軸外側」の観測点を、今回新たに緊急地震速報の発表に活用する（①～⑤の観測点は、令和元年6月27日より緊急地震速報の発表に活用）

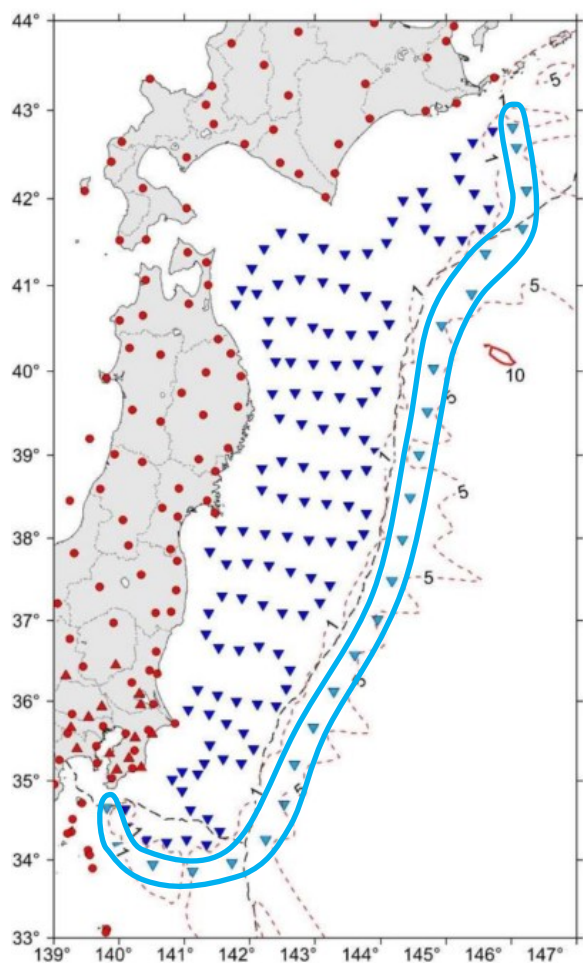


図2 ⑥海溝軸外側の観測データを新たに活用することによる迅速化の効果

図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、新たにS-net(図の青枠内)を活用すると緊急地震速報(警報)の発表が、現在と比較してどの程度早まるかを計算した理論上の最大値(秒)を示す。

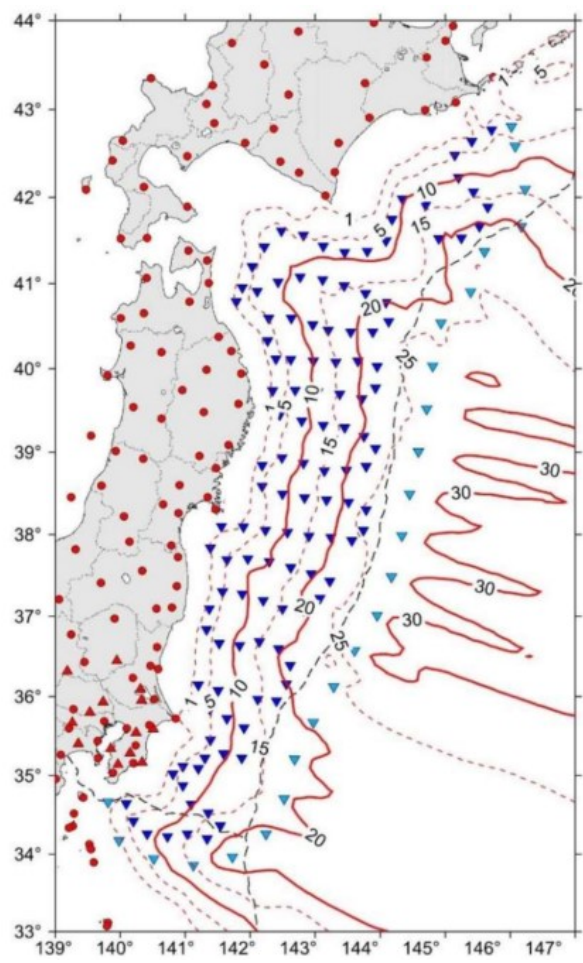


図3 海溝軸外側を含む S-net 観測データの活用による迅速化の効果

図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、S-netを活用すると緊急地震速報(警報)の発表が、S-net 全体の観測データの活用を開始する前と比較してどの程度早まるかを計算した理論上の最大値(秒)を示す。

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和2年3月地震・火山月報(防災編)』をご覧ください。

「鳥取県の地震」に係る問合せ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313